



# GREEN THINKING!

## 脱炭素社会を目指すカーボンニュートラルに向けて

■地域に根差した啓発活動

栃木県地球温暖化防止活動推進センター(愛称・ストップ温暖化センターとちぎ)は「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、一般財団法人栃木県環境技術協会が県の指定を受けて運営しています。県や県内市町と連携・協力を図りながら県民や事業者による温暖化の現状や温暖化対策の重要性の普及・啓発活動や民間団体の支援を行っています。具体的には、各自自治体の環境フェアへの参加や図書館などの連携企画展などを行い、地域に根差した啓発活動を地道に続けてきました。



▲県内の大学で実施した講座の様子

■危機意識強い若者

栃木県地球温暖化防止活動推進センター(宇都宮市)は、若い世代の脱炭素への関心の高まりを背景に、活動の主軸を「啓発」から「行動変容」や「社会実装」へとシフトしています。同センター事務局長の石濱辰郎さんに、センターの役割や活動について伺いました。

(企画制作 下野新聞社ビジネス局)

近年、「カーボンニュートラル」という言葉が広く浸透し、県民の意識には大きな変化が見られます。大学生や探究学習に取り組み高校生など、若い世代からの問い合わせが増えています。さらに、ボランティアとして活動を支えてくださる「地球温暖化防止活動推進員」についても、かつてはシニア世代中心でしたが、最近では30〜40代の現役世代による応募が目立つようになりました。若い世代ほど、脱炭素への関心が高いようです。



▲図書館イベントでの様子

■身近なところから「脱炭素」

脱炭素は「我慢」ではありません。断熱性能の高い家はヒートショックを防ぎ、快適で豊かな暮らしにつながると言われていました。2050年の目標達成に向け、まずは30年の中期目標が大きな節目です。今ある技術を上手に生活に取り入れながら、楽しく身近なところから「脱炭素な暮らし」を選び取っていただきたいです。センターは、これからも県民の皆さんの「脱炭素な暮らし」に役立つ事業を行っていきます。お気軽にお問い合わせください。

私たちは  
GREEN THINKING!  
を応援しています。

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP



宇都宮ライトパワー株式会社

EKK 江崎工業株式会社



有限会社 関東実行センター

株式会社 菊地組 KIKUCHI